

国道134号沿線の活性化に関する有識者会議

意 見 集

## ○ 有識者会議での意見（キーワード）

- ・茅ヶ崎がいいところというアピールが不足
- ・毀損しつつある茅ヶ崎ブランド
- ・観光拠点はない
- ・観光資源は多くない
- ・掘り下げていくことができるものはたくさんある
- ・市民がプライドを持てる何かほしい
- ・6 km全体を考える必要がある
- ・若者の意見を取り入れる
- ・長期的に考えるもの、短期的にできるもので分ける必要がある
- ・好循環に向けていくためにはきっかけが必要
- ・市民と観光客のバランスが大事
- ・お金がないならば知恵が必要
- ・時代は海水浴に行く感じではなくなった
- ・自然物だけど人工的に守ることが必要
- ・住んでいる人が住みやすいまち
- ・自慢できるまち
- ・生活のつながりの中で海の魅力を高める
- ・住んでいる人が住みやすいまち
- ・地元の人が行きたくなるようなところ
- ・自慢できるまち
- ・まちの価値をあげる
- ・楽しむことができる海岸
- ・出かけたくなる、行きたくなる海
- ・生活のつながりの中で海の魅力を高める
- ・茅ヶ崎イメージの具現化
- ・市民が泳ぎたい、泳ぎに行く海づくりが大切
- ・家族連れが子どもの教育の場として活用する
- ・海をきれいにすることが大切
- ・アクセス動線の整備
- ・海が非常に近い恵まれた環境をアピール
- ・子ども達に意識をもってもらうことで、親も意識するようになる
- ・動いているときに手を打つ
- ・スピード感を持って着手する
- ・都市化したまちにある変わらない魅力の発見
- ・ゆっくりすごしたい→東、観光→西
- ・海は共通の財産
- ・整備は物をつくるだけではない
- ・街並みや雰囲気は観光資源
- ・立地条件を活かす
- ・広域的な集客への対応
- ・防災機能の充実

## ○ 第1回作業部会での意見（キーワード）

※意見を分類しています。

### <課題>

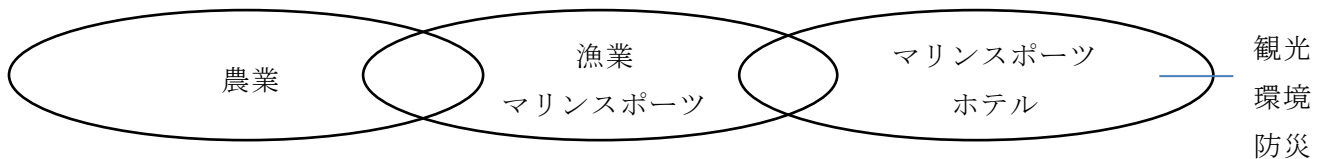
- ・茅ヶ崎は名前先行。海沿いの魅力が発信されていない。
- ・イメージは高いが現実は低い。
- ・立ち寄りところがない。
- ・課題はたくさん出ている。

### <よいところ>

- ・交通渋滞は減った。

### <全体>

- ・海と無関係の道の駅ではダメ。西浜駐車場と道の駅とは同じものをつくってもよくない。  
それぞれを関連づける。トータルで見ないと市民・来訪者にとってもよくない。
- ・海から地下道をつくってもよい
- ・予算や手続きは別として、一気に進めてほしい。
- ・海から地下道とつなげる等、全て海岸とアクセスさせるべきである。
- ・イメージアップ



- ・圏央道から道の駅に立ち寄り、いろいろと知ってもらう
- ・海があることが魅力 ⇔ 海が毀損されていることが課題  
→防ぐ
- ・サイクリングロードからの眺めはよい
- ・観光地となればよくなるのではないか。
- ・なぜきれいな海岸にならないのか→魅力を半減させている。
- ・人工的に守れば今よりよくなる。ある程度回復する。ハマヒルガオ等植生を回復
- ・30年ほど前はごみもたくさんあった。
- ・手を入れた例がヘッドランド。活性化して、資金を生み、資金を魅力に費やすの循環
- ・勢いで進めていく
- ・ビジネスマネーをひきこむ
- ・プランからプランとならないように
- ・道の駅周辺と漁港周辺を一緒にすすめる
- ・コミュニティバスを活用する（シャトルバス）
- ・レンタサイクルポートをつくる

- ・ 134号の歩道橋を通じてビュー（写真）スポットで富士山をみせる（サインをつくる）
- ・ 現状のレンタサイクルは回遊できていない
- ・ 早くやること
- ・ 茅ヶ崎だけのうるおいではなく、平塚・藤沢・寒川、県も含める
- ・ ビジネス的な発想が必要
- ・ 外からの観光を考える必要はあまりない。「自然」を考えた中で人が集まればよいのではないか。
- ・ 自然を守るには、人の手が必要
- ・ 人口減少を見据え、金を生む仕組み

#### <西エリア>

- ・ 時系列で道の駅がはじめというのはよい。海をサポートするか。機能を提案して実現してもらうのはよい。
- ・ 道の駅は海との関係で話をするのはよい。海のそばにある道の駅、圏央道から降りてすぐの道の駅
- ・ 道の駅に大規模な駐車場ができる。シャトルバスを出して海へ行かれるようにしてもよい。西浜駐車場は海と近いので関連して活用すべき
- ・ 道の駅の提案は7年前くらい出している。アクションプランも業務委託で行った。農業所得を増やすことを実現させている。
- ・ 個別案件はつめていくのだろう。民間のアイデアを入れていくのだろう（道の駅）
- ・ しおさい広場などはつながっているべき
- ・ 地権者が喜ぶ提案。農業だけでは道の駅は成り立たない。水産物も必要
- ・ 道の駅が農業だと海と結びつかないのでは
- ・ 道の駅1haだと足りない。3.9haすべて使うべき  
(普通車500台、大型・観光バス30台)
- ・ 道の駅は駐車場はたくさんつくらないとダメ。134号、鉄砲道が渋滞してしまう。迷惑をかけない施設とすべき
- ・ 大型バスの駐車場は必須
- ・ 女性トイレのニーズは高い
- ・ 道の駅→地域産業の活性化、雇用の創出
- ・ 「相模湾」（湘南全体）観光案内所

#### <中央エリア>

- ・ 漁港背後地の駐車場整備事業は7～8年間動いていない。
- ・ 西浜駐車場の内容も決まっていない。
- ・ グランドプランも進んでいない。
- ・ サザンビーチは漁業だけではない。海水浴場もある。

- ・えぼし周遊船ももっと周知してよいのでは。環境面の周知もできる。
- ・グランドプランはこれからよいものをつくれれば進んでいくのではないか。
- ・西浜駐車場は海など全体的な機能で活用すべき。フィッシャーマンズワープみたいなもの
- ・「貸す」発想
- ・屋上に風呂
- ・柳島に昔温泉があった
- ・グランドプランA地区の公園予定地と西浜駐車場を結ぶ
- ・海水浴場組合駐車場に土を入れるのはよくない
- ・西浜駐車場はすぐに活用できるのでは

#### <東エリア>

- ・海とラチエン通りなどを地下道で結ぶ
- ・3月にゴルフ場の法人アイデア募集をした。そのアイデアとどのように結びつけるのか。
- ・商業、環境、防災、まちづくりゾーンのようなものと海と関連させるとよいのでは。
- ・20haは大きい。利益を生むものは難しいのでは。売却か公有地化で異なる。
- ・市が県から無料で借りるのも1つ。採算があうものは考えられない（リゾートホテル、ゴルフ場など）
- ・ゴルフ場は茅ヶ崎の集客に活用できる。県もうるおう。
- ・県にとってもよいものができれば、よいのであろうから、無料で借り、残りは安価で借りるというのはいかがでしょうか。
- ・海から辻堂海岸の歩道橋のようなものがよいのでは。湘南のシンボルとなり得る。
- ・パシフィックパーク（ホテル）、未病のための施設、マリンスポーツ的な施設、地元の方の憩いの場でわかる
- ・学校用途は考えられないか。

## ○ 第2回作業部会での意見（キーワード）

※意見を分類しています。

### <全体>

- ・それぞれのエリアにサイクルポートを設置
- ・（立体の）市営駐車場に市外の車を置いてもらい、サイクルポートを設置←現況の茅ヶ崎では
- ・ショッピングセンターはまちがおかしくなる。世界共通でおもしろくない。
- ・海外のマリブ、サンタバーバラも商店街へ回帰している＝地域の時代→遅れている茅ヶ崎にはよい！
- ・自転車を中心とした海岸までの回遊性の確保
- ・各エリアをレンタサイクルやシャトルバスで回遊できることが必要である。
- ・ビュースポット、写真スポットの確立
- ・各エリアをレンタサイクルやシャトルバスで回遊できることが必要である。

### <西エリア>

- ・アクションプランの中の『茅ヶ崎100年プラン』は8課を集めた。昔は柳島湊、木場、温泉もあって栄えていた。昔は相模川、今はさがみ縦貫道路（でつながっている）農業所得を増やしたい、農地を貸したいなど450アイデア。まちあるきをして分類して10コンテンツ（にした。）文字よりもポスター10枚で示した
- ・柳島は空き家が多いので活用すべき
- ・アクションプランを活用すべき、
- ・（アクションプランは）豊かな長寿社会の話とリンクしている
- ・期限が決まっているのは道の駅
- ・アクションプランは、地権者の意向もきかないといけませんが、この作業部会ではアイデアがあるということが重要であるという意見であってもよいのではないかと。
- ・道の駅が他ゾーンとどのように連携させ、海とつながりがあるものとすべき
- ・作業部会としては、アクションプランの内容で道の駅の50～60%が決まってきているのではという結論
- ・「スポーツ健康体験ゾーン」
- ・普段ではできないことが体験できる
- ・「買うこと」だけではない。
- ・道の駅は「湘南全体の情報基地」

### <中央エリア>

- ・できていることを実行してほしい。
- ・（西浜駐車場跡地）公共性の高いものとして活用すべき
- ・海のための駐車場 フィッシャーマンズワーフとして活用する
- ・ランドプランを実現する中で、魚市場が入るということはよい。

- ・魚料理人や仲買人だけではなく、市民も自由に来ることができるようなもの
- ・中心のため、海との関連で駐車場←漁港駐車場が進まないの。
- ・漁港の駐車場ができないと→海はきれいにならない。
  - フィッシャーメンズワープなどを造っても車があふれる
- ・漁港背後地の駐車場整備（＝大前提）をすれば、いろいろと進んでいく
  - 西浜駐車場（フィッシャーメンズワープ）も進む→貸し出す→資金を得る→まちづくり整備に費やす→人が来る→資金を得る
- ・行政の箱ものは維持・管理費も出ない→ビジネス感覚をもってまちをきれいにしていく
- ・リースバック方式
- ・D地区はA・B・C地区の原動力となりうる
- ・考えずにすすめる
- ・茅ヶ崎駅から海岸に向かう南北の道路について、自転車を中心とした回遊性をもたせるためのまちづくりが必要である。
- ・産業振興は市内で資金を生み、市内でまわすこと
- ・B地区は階段のようにして、海を見渡せるようにする。資金は市民から募り、階段側面に名前を入れる。

#### <ゴルフ場周辺>

- ・パシフィックホテルをもう一度つくる←湘南地域にホテルが少ない。海に見えるバンケット
- ・未病＝スポーツジムのようなもの＝健康ジム（トレーニングカテゴリーが詳細）＋ホテル
- ・6ホールゴルフ場
- ・ゴルフ場として残すのは防災・環境
- ・ヘッドランドのボードウォークは人がなごむ場所である
- ・駐車場スペースがあるとよい→近隣にないため
- ・良いホテルを呼ぶ→さらに沿線が活性化する